

(5) 資源の循環

① ごみ排出量

ごみ発生量は、2007年(平成19年)まで年間16,600t前後で、2008年(平成20年)以降減少傾向にあります。そのうちの68%近くを家庭系ごみが占めていますが、これも同様に減少傾向にあります。

また、2001年度(平成13年度)から缶、びん、ペットボトルに加えて「その他プラスチック」など6品目において分別収集を実施しています。

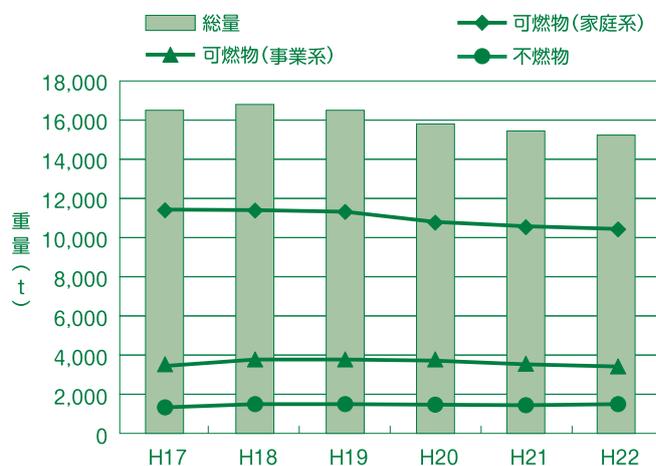


図 2-1-17 ごみ発生量

出典：向日市統計書

② ごみの適正処理

幹線道路沿いでのごみ捨てや、竹林や河川、道路へのごみの不法投棄が大きな問題となっています。

③ 地下水

地下水の適正な採取と合理的な利用を図り、生活用水の水資源の保全を行うとともに、地下水の枯渇、地盤沈下などを防止するため、向日市地下水保全対策協議会を設置し、地下水保全対策に努めています。

また、本市の水道水源は、日吉ダムを水源とした京都府営水道からの受水と自己水源である地下水の2系統があります。自己水源である地下水については、井戸を定期的に点検して、効率的な利用を図るとともに、継続的に水質や水位を調査し、良好な水質の確保に努めています。